



©Yuki Asada

丈夫で長持ち 自然生まれの工芸品

ケニアの首都ナイロビから車で約1時間。山に囲まれたのどかな町、マチャコスが見えてくる。雨が少ないこの町では、農業で安定した収入を得ることが難しく、古くから住民の副業として、サイザル製のバスケットが作られてきた。多年生植物のサイザルは、葉の表面を剥くと、中から白く光沢のある繊維が現れる。耐久性や通気性に優れたこの繊維が、10年、20年先まで長持ちする製品を生み出すのだ。

ところが近年、外国製の安価な商品が出回るようになってからというもの、地元で作られたバスケットを買う人は減少していった。より安定した収入を求めて、マチャコスを離れる若者も増えている。

働く意欲がある人たちに雇用の機会を提供したい——。そんな思いから2013年

に設立された株式会社アンバーアワーが考えたのが、織り機の導入だった。「現地の伝統的な作り方が、実は織りと同じ構図であることが判明したのです」と岡本ひかる副代表は話す。

工場の女性たちは、織り機の扱いはほぼ未経験だったが、この1年半で見るとうちに上達。生産性が上がり、品質のばらつきも無くなった。主力製品のバスケットとブックカバーに加え、今年からランチョンマットの販売も始める予定だ。

「現地のスタッフから、収入が増えて子どもの教育費を払えるようになったと聞いたときは、うれしく思いました」と岡本副代表。ケニアのサイザル製品には、地域の素材、熟練した技術、そして、人々の熱意が込められている。



織り機を使ってランチョンマットを作る女性たち。スタッフのほぼ全員が農村部の出身だ

★ランチョンマットを6人にプレゼント!
 →詳細は38ページへ

★商品は「アンバーアワー」オンラインショップ
 (www.amberhour.com/)を通じて購入可能。

